

令和5年度相談支援従事者指導者養成研修 「地域づくりコース」

<担当>

- 東美奈子 (特定非営利活動法人Sapyuie)
岡部正文 (社会福祉法人ソラティエ)
山口麻衣子 (社会福祉法人清樹会 地域生活支援センターすみよし)
島村 聡 (沖縄大学人文学部)
大平眞太郎 (社会福祉法人グロー(滋賀県障害者自立支援協議会))

<コースの目的>

- 相談支援従事者現任研修における「相談支援専門員による地域づくり」に係るプログラムを展開するために必要となるファシリテーターの資質について確認する。
- 自らの地域づくり実践を振り返り、ファシリテーターの役割を果たすために活用できる要素に気づく。(理論的な理解を促すために実践を例えて説明できるための力を獲得する。)

2日間のスケジュール

時間	プログラム内容
6月8日(木)	
8:50	本日のガイダンス
9:00	1. プログラムの目的・内容の説明
9:20	2. 演習デモンストレーション この後行う演習の講師によるデモンストレーション
休憩(10分)	
10:30	3-1. 地域づくりを意識化するための演習(グループワーク) 2名の事例報告と質疑
昼休憩(60分)	
13:00	3-2. 地域づくりを意識化するための演習(グループワーク) 2名の事例報告と質疑
休憩(15分)	
14:40	3-3. 地域づくりを意識化するための演習(個人ワーク) ○ 事例に対しての質問を受けて、事例の表現方法等についての修正
休憩(10分)	
15:50	3-4. 地域づくりを意識化するための演習(グループワーク) ○ 修正した事例報告((15分報告+5分感想)×4人)
17:20	共有・本日のまとめ
6月9日(金)	
8:50	本日のガイダンス
9:00	4. 現任研修の効果的な実施に向けた工夫 (途中15分休憩)
	5. 気づきの共有

地域づくりを意識化するための演習 ～演習デモンストレーション～

- ① 講師1名が事例提供者となり事例の概要、支援のプロセス等について報告する。
- ② その他の講師からは支援プロセスにおける「地域づくり」を意識化し、論理的な整理を促すための質問を行う。
- ③ 質問からの気づきを加えた事例報告を行う。

演習デモンストレーション

<事例提供者>

岡部 正文

<質問者>

東 美奈子

山口麻衣子

大平眞太郎

休憩

10分間

地域づくりを意識化するための演習 (グループワーク)

<手順>	内容	時間
①	事例の概要、支援のプロセス等について報告する。	20分
②	その他の受講者からは支援プロセスにおける「地域づくり」を意識化し、論理的な整理を促すための質問を行う。	20分

× 2名 (午前)

× 2名 (午後)

12:00終了

まずはアイスブレイクから

- 1 自己紹介（都道府県・所属・氏名）
- 2 今一番はまっている休日の過ごし方
- 3 報告の順番決め

地域づくりを意識化するための演習 (グループワーク)

<手順>	内容	時間
①	事例の概要、支援のプロセス等について報告する。	20分
②	その他の受講者からは支援プロセスにおける「地域づくり」を意識化し、論理的な整理を促すための質問を行う。	20分

× 2名

12:00終了

休憩

60分間

地域づくりを意識化するための演習 (グループワーク)

<手順>	内容	時間
①	事例の概要、支援のプロセス等について報告する。	20分
②	その他の受講者からは支援プロセスにおける「地域づくり」を意識化し、論理的な整理を促すための質問を行う。	20分

× 2名

14:30終了

休憩

10 分間

地域づくりを意識化するための演習 (個人ワーク)

- 事例に対しての質問を受けて、事例の表現方法等についての修正

15:40終了

休憩

10 分間

地域づくりを意識化するための演習 (グループワーク)

<手順>	内容	時間
①	修正した事例の報告	15分
②	感想等の共有	5分

× 4 名

17:10終了

本日はお疲れさまでした。

この後の時間が本番という方も
いらっしゃると思いますが、
明日にお疲れすぎませんように
お気を付けください。

2日間のスケジュール

時間	プログラム内容
6月8日(木)	
8:50	本日のガイダンス
9:00	1. プログラムの目的・内容の説明
9:20	2. 演習デモンストレーション この後行う演習の講師によるデモンストレーション
休憩(10分)	
10:30	3-1. 地域づくりを意識化するための演習(グループワーク) 2名の事例報告と質疑
昼休憩(60分)	
13:00	3-2. 地域づくりを意識化するための演習(グループワーク) 2名の事例報告と質疑
休憩(15分)	
14:40	3-3. 地域づくりを意識化するための演習(個人ワーク) ○ 事例に対しての質問を受けて、事例の表現方法等についての修正
休憩(10分)	
15:50	3-4. 地域づくりを意識化するための演習(グループワーク) ○ 修正した事例報告((15分報告+5分感想)×4人)
17:20	共有・本日のまとめ
6月9日(金)	
8:50	本日のガイダンス
9:00	4. 現任研修の効果的な実施に向けた工夫 (途中15分休憩)
	5. 気づきの共有

<コースの目的>

- 相談支援従事者現任研修における「相談支援専門員による地域づくり」に係るプログラムを展開するために必要となるファシリテーターの資質について確認する。
- 自らの地域づくり実践を振り返り、ファシリテーターの役割を果たすために活用できる要素に気づく。(理論的な理解を促すために実践を例えて説明できるための力を獲得する。)

1 日目 2 日目の振り返り

現任研修の効果的な実施に向けた工夫

- 受講者自身の「地域づくり」の意識化を経て、現任研修の効果的な展開方法やファシリテーターの育成に関する工夫策について検討する

1 演習の振り返り・気づいたことの共有(30)

2 現任研修の効果的な展開(40)

～ミクロからマクロへのつながりを意識する～

- ① (現任研修における) 3日目のイントロダクション
- ② 受講者に気づきを促すアプローチ
- ③ 協議会へのつながりをどう見せるか

3 まとめ・報告準備(15)

(途中15分休憩)

11:00～まとめを行います

気づきの共有

- 1 各グループで検討された現任研修の効果的な展開方法やファシリテーターの育成に関する工夫策を全体で共有する
- 2 各講師から

12:00終了